



赤外線位置天文観測衛星JASMINE

2025/3/19 光赤天連総会 資料

Japan Astrometry Satellite Mission for Infrared Exploration
JAXA宇宙科学研究所 公募型小型3号機 (2031年度打ち上げ予定)

■ ミッション目的: 超高精度位置天文観測およびトランジット法による系外惑星探索

- 国立天文台JASMINEプロジェクトのウェブページは[こちら](#)
- JASMINE White paper (Kawata et al. 2024)は[こちら](#)

■ 活動状況

- 2024年7月に宇宙研でのミッション定義審査を終了し、現在はコスト・リスク低減のための活動を実施中。各サブシステムおよびコンポーネントの開発担当メーカー候補との検討作業を実施中。
- 高安定・高性能な望遠鏡の設計、組立調整・性能評価方法の検討、衛星システム全体の実現性検討を進めている。
- 国産InGaAs(インジウム・ガリウム・ヒ素)赤外線センサを開発中。
- 想定される現実的な状況において、位置天文パラメータに要求される精度が達成可能であることを検証するシミュレーションソフトウェアjasmine-imagesimを開発している。

■ JASMINE Consortium Meeting 2025 開催予定 (2025年8月)

- [宮城教育大学\(仙台\)](#)にて開催予定。日程が決まり次第、gopira、tennetでアナウンス予定。奮ってご参加ください。

■ 本年会中での講演

- [R05a](#): Building the largest mock astrometric catalogue of the Milky Way centre in the near infrared for the end-to-end simulation of the JASMINE satellite / Ramos, Pau(NAOJ)
- [V230a](#): JASMINEのサイエンスと位置天文サイエンスコアチームの活動の現状報告 / 西山正吾(宮城教育大学)・他
- [V231a](#): 赤外線位置天文観測衛星JASMINE: 計画および開発検討の進捗状況 / 鹿野良平(国立天文台)・他
- [V232a](#): JASMINEによる系外惑星探査に向けた望遠鏡姿勢ドリフトによる測光安定性への影響評価 / 笠木結(宇宙航空研究開発機構)・他

サイエンス・データ解析・装置開発等の面で多くの方の参画をお待ちしています
JASMINEへのご支援をよろしくお願いします!